

## 平成23年度病害虫発生予報第11号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
きゅうり	べと病	やや多	やや多
	うどんこ病	並	並
	褐斑病	やや少	やや少
	菌核病	並	並
	灰色かび病	並	並
	ミナミキイロアザミウマ	やや少	やや少
	コナジラミ類	並	並
トマト	黄化葉巻病	並	並
	灰色かび病	並	並
	疫病	やや多	やや多
	コナジラミ類	やや少	やや少
いちご (本圃)	うどんこ病	並	並
	灰色かび病	並	並
	アブラムシ類	並	並
	ハダニ類	並	並
たまねぎ	べと病	並	並
	白色疫病	並	並
	ネギアザミウマ	並	並
ブロッコリー	黒腐病	並	並
	べと病	並	並

【発生予報】 本文の( )内は平年値

## きゅうり

## 1. べと病

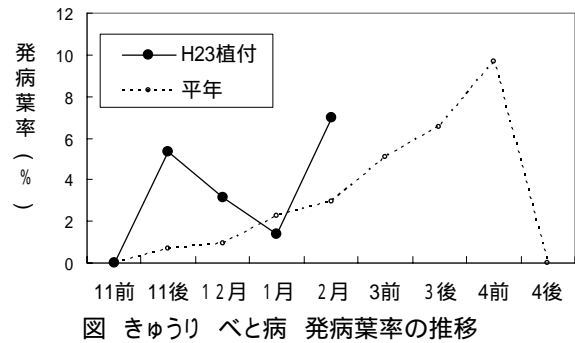
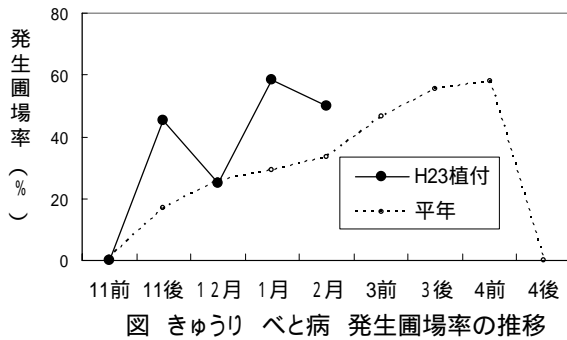
## (1) 予報内容

発生程度 やや多

## (2) 予報の根拠

ア 2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は6.9%(2.9%)、発生圃場率は50.0%(33.5%)であった。

イ 向こう1か月の降水量は平年より多く、日照量は少ない見込みであり本病の発生に好適である。



### (3) 防除上注意すべき事項

- ア 病勢が進行すると防除困難になるため、早期発見・早期防除に努める。
- イ 薬剤耐性菌を生じるおそれがあるので、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

## 2. うどんこ病

### (1) 予報内容

発生程度 並

### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は4.4%(6.7%)、発生圃場率は50.0%(66.7%)であった。

## 3. 褐斑病

### (1) 予報内容

発生程度 やや少

### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は0.5%(3.4%)、発生圃場率は16.7%(45.3%)であった。

## 4. 菌核病

### (1) 予報内容

発生程度 並

### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率1.0%)。

## 5. 灰色かび病

### (1) 予報内容

発生程度 並

### (2) 予報の根拠

ア 2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病果率は0.0%(0.0%)、発生圃場率8.3%(3.1%)であった。

イ 向こう1か月の降水量は平年より多く、日照量は少ない見込みであり、本病の発生に好適である。

## 6. ミナミキイロアザミウマ

### (1) 予報内容

発生程度 やや少

## (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(寄生葉率0.5%、発生圃場率13.7%)。

## (3) 防除上注意すべき事項

ア 本虫は黄化えそ病を媒介するので、侵入防止に努めるとともに、黄色粘着トラップを施設内に設置し、早期発見・早期防除に努める。

イ 하우스内および周辺の雑草は本虫の生息・増殖源となるので除去し、環境衛生に努める。

ウ 本虫は芽に潜り込みやすいので、芽かきした摘葉は残さず集めて施設外に持ち出し、土中に埋めるか、ビニール袋等に入れて完全に枯れるまで密封処理する。

エ 強い薬剤抵抗性を持つので、防除薬剤の選定にあたっては十分留意する。また薬剤抵抗性対策のため、同一系統の薬剤は連用しない。

## 7. コナジラミ類

### (1) 予報内容

発生程度 並

### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は1.3%(1.8%)、発生圃場率は25.0%(28.3%)であった。

### (3) 防除上注意すべき事項

ア 本虫は退緑黄化病を媒介するので、侵入防止に努めるとともに、黄色粘着トラップを施設内に設置し、早期発見・早期防除に努める。

イ 強い薬剤抵抗性を持つので、防除薬剤の選定にあたっては十分留意する。また薬剤抵抗性対策のため、同一系統の薬剤は連用しない。

## トマト

## 1. 黄化葉巻病

### (1) 予報内容

発生程度 並

### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は0.2%(過去7ヵ年平均0.9%)、発生圃場率は41.7%(同26.0%)であった。

## 2. 灰色かび病

### (1) 予報内容

発生程度 並

### (2) 予報の根拠

ア 2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病果率は0.0%(0.1%)、発生圃場率は8.3%(12.0%)であった。

イ 向こう1か月の降水量は平年より多く、日照量は少ない見込みであり、本病の発生に好適である。

## 3. 疫病

### (1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は0.1%、発生圃場率は16.7%であった(発生を認めない)。

イ 向こう1か月の降水量は平年より多く、日照量は少ない見込みであり、本病の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 発病するとまん延が早いので早期発見に努め、薬剤散布は予防に重点をおく。

イ 施設内が多湿にならないよう適正な湿度管理に努める。

4. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は0.1%(寄生株率0.6%)、発生圃場率は8.3%(17.2%)であった。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(27筆)の結果、葉での発病株率は1.0%(0.3%)、発生圃場率は3.7%(5.1%)、果実での発生は認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率2.8%)。

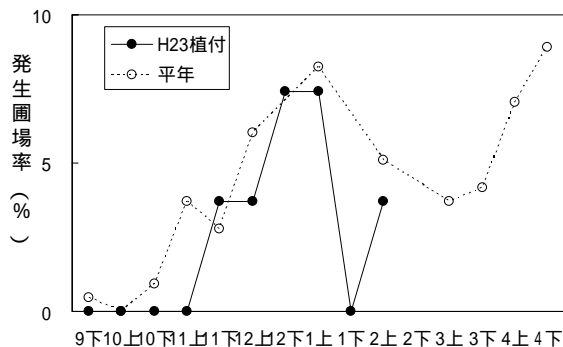


図 いちご うどんこ病 発生圃場率の推移

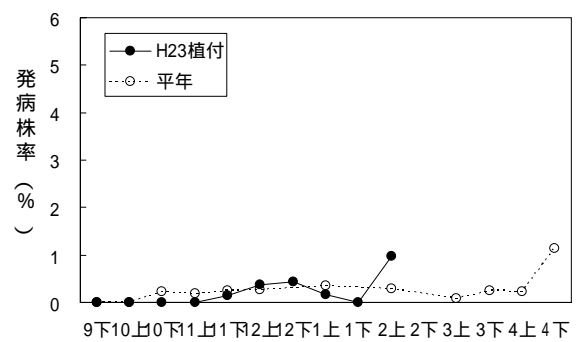


図 いちご うどんこ病 発病株率の推移

(3) 防除上注意すべき事項

ア 多発すると防除が困難になるので、早期発見、早期防除に努める。

イ 発病葉や発病果実は伝染源となるので、圃場外へ持ち出し、適切に処分する。

ウ 発生を認めたら治療効果のある薬剤を1週間程度の間隔で散布し、防除を徹底する。

エ 薬剤は、葉裏や下位葉にもむらなくかかるように十分量を散布する。

オ 薬剤耐性菌発達の防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 2月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病果率は0.0%(0.0%)、発生圃場

率は11.1% (14.3%)であった。  
 イ 向こう1か月の降水量は平年より多く、日照量は少ない見込みであり、本病の発生に好適である。

### 3. アブラムシ類

#### (1) 予報内容

発生程度 並

#### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は0.5% (0.6%)、発生圃場率は14.8% (9.7%)であった。

### 4. ハダニ類

#### (1) 予報内容

発生程度 並

#### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は1.7% (4.2%)、発生圃場率は40.7% (33.3%)であった。

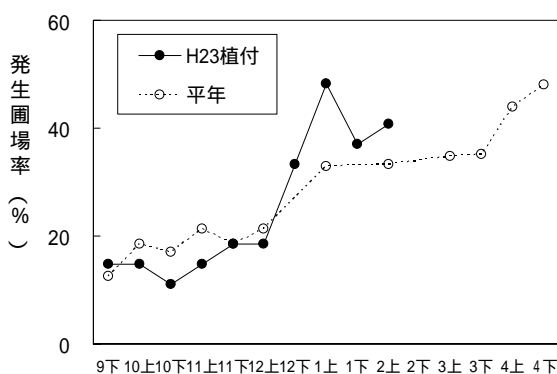


図 いちごハダニ類 発生圃場率の推移

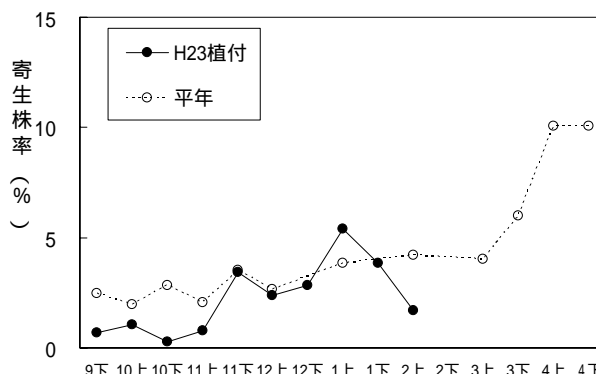


図 いちごハダニ類 寄生株率の推移

#### (3) 防除上注意すべき事項

ア 密度が高くなると防除が困難となるので、発生初期の防除を徹底する。

イ 葉裏に多く寄生するので、薬剤散布は下葉かき等古葉の整理を行なった後、薬液が葉裏に十分かかるように丁寧に散布する。

ウ 薬剤感受性が低下しやすいので、同一薬剤は連用しない。

エ 天敵(チリカブリダニ等)を使用している圃場は、発生状況に応じて天敵に影響の少ない殺ダニ剤を活用する。

## たまねぎ

### 1. ベと病

#### (1) 予報内容

発生程度 並

#### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.0%、発生圃場率0.8%)。

### 2. 白色疫病

#### (1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.1%、発生圃場率6.7%)。

3. ネギアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は14.1%(16.1%)、発生圃場率は73.3%(66.7%)であった。

ブロッコリー

1. 黒腐病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(7筆)の結果、発病株率は0.6%、発生圃場率は14.3%であった(過去4ヵ年平均 発生を認めない)。

2. ベと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(7筆)の結果、発生を認めなかった(過去4ヵ年平均 発病株率0.8%、発生圃場率13.9%)。

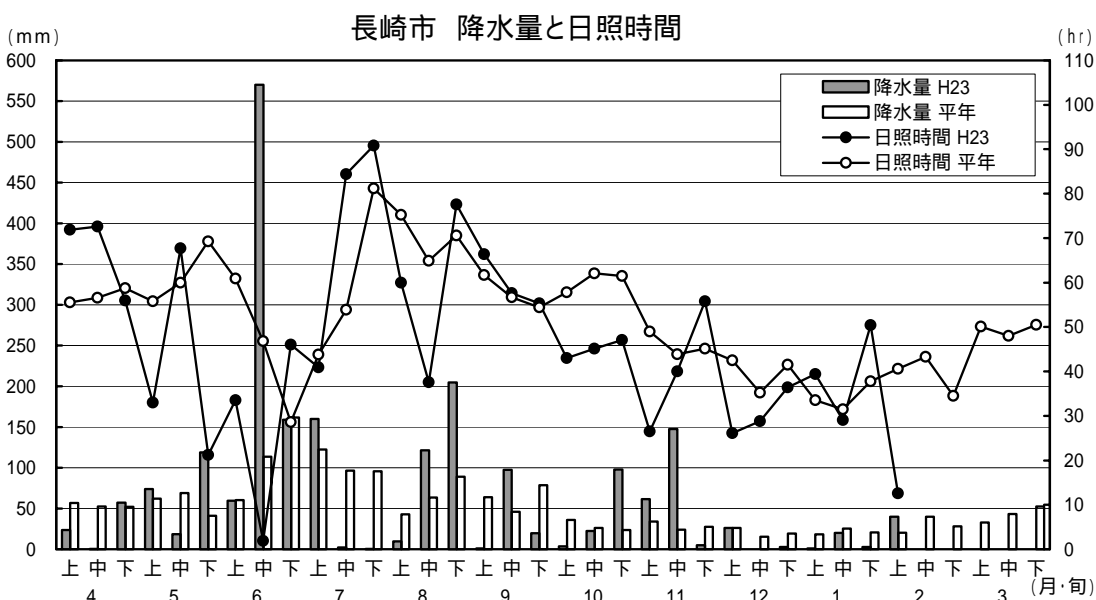
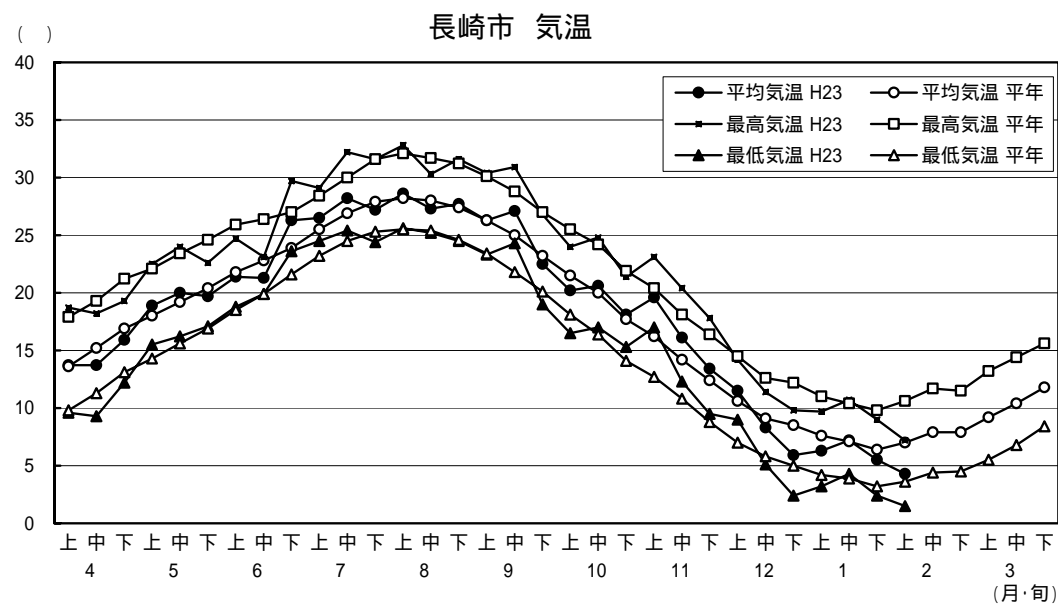
【参考】

気象 (平成24年2月10日発表 1か月予報 福岡管区气象台)  
要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	40	40	20
降水量	20	40	40
日照時間	40	40	20

予報対象地域：九州北部地域

平成23年度の気象経過 (長崎海洋气象台)



病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027